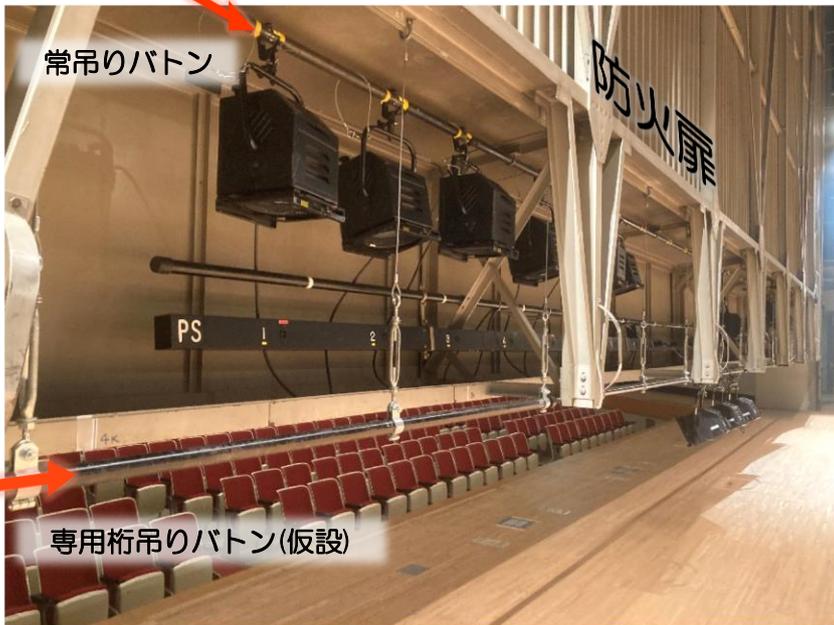
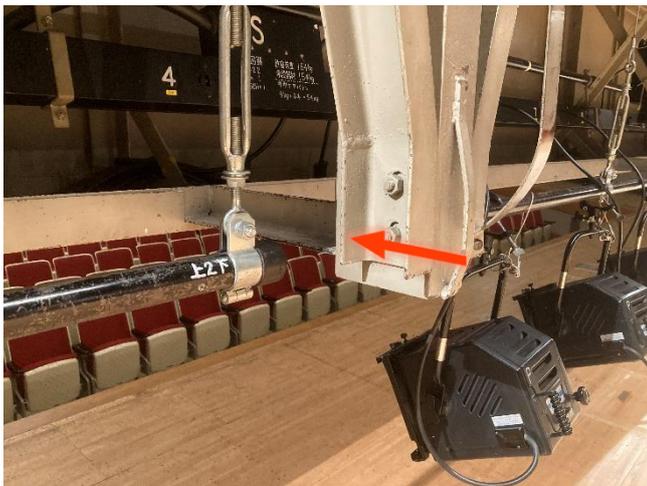


防火扉（プロセニウムサスペンションライト）詳細



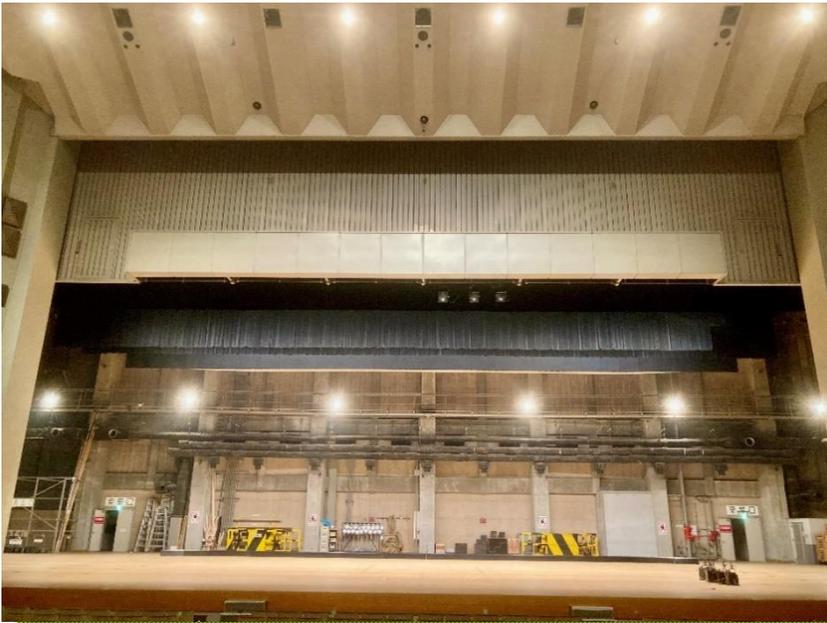
- 必要に応じて専用桁吊りバトン 6 本を吊り込むことができます。（持ち込みパイプの吊り込みは不可）
- PSUS の許容荷重 154kg。
専用桁吊りバトン 9kg×6 本=54kg
実質吊り込める器材は 100 kgまで。
- 常設器材重量 154kg。
- 吊り込む重量分の常設器材を下ろしバランスをとります。



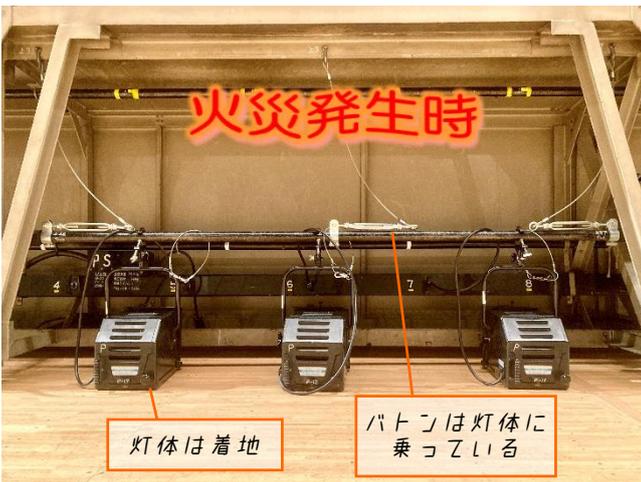
- センターと、1 間半弱の所と、3 間弱の所は縦に梁が通っているため吊り込むことが出来ません。



- センター、1 間半弱、3 間弱の所の吊り込めない場所の幅はおおよそ 400 mm。



- 客席から見たところ。
- 1間強のスパンごとに桁吊りバトンを6本吊ることが出来ます。
- 灯体を吊り込める部分がボックス状になっており、客席の方へ出っ張っています。
- 飛び切るとプロセと同じ高さになります。

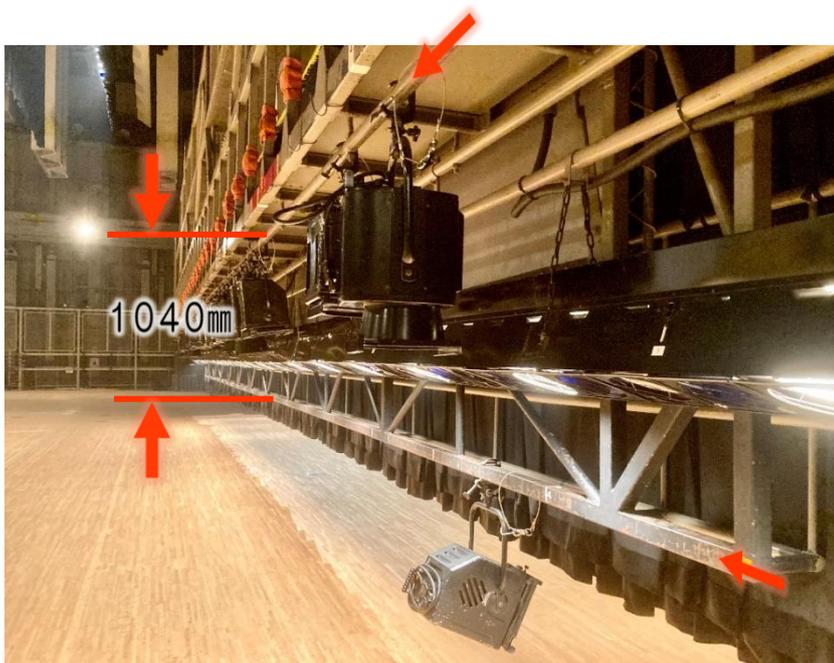


- 防火扉なので、火災発生時には舞台面まで自動的に降りてきます。その際灯体は着地しますがバトンと灯体はボックス状の出っ張りの中に収まります。
- ただし、場合によっては防火扉の下敷きになったり、ケーブルが引っ張られる可能性もあります。あらかじめお承知おき下さい。
- また、桁吊りバトンどうしをクランプ等でつなぐことは防火扉としての機能を妨げる恐れがあるためお断りしております。



- 防火扉のすぐ後ろは第1 緞帳になっています。
- 大変接近しているため、第1 緞帳を使用する場合吊り込む器材によって、また使用方法によって接触する可能性があります。

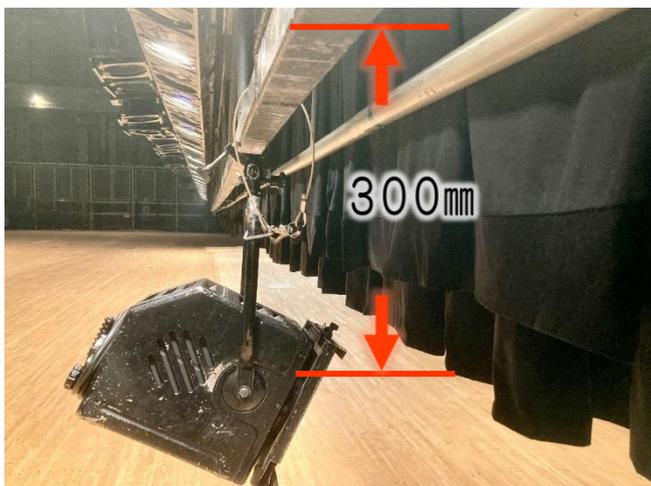
 ブリッジ (第1 サスペンションライト) 詳細 



- ブリッジの許容荷重 303kg。
- 常設器材重量 223kg。
- 通常のサスバトンと下段の角パイプ (スクリーン下枠) に吊り込み可能。
- 角パイプは間口 9 間。
- サスバトンから角パイプまで 1040 mm。
- 乗り込んでシュートすることも出来ますが、その際は持ち込みのヘルメットとフルハーネスの着用をお願いします。



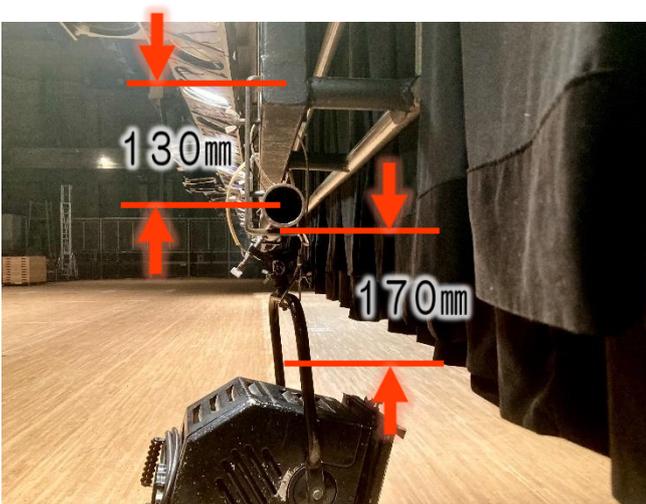
- ボーダーライトとの距離が近いのでムービングライトは下段吊りをお勧めします。



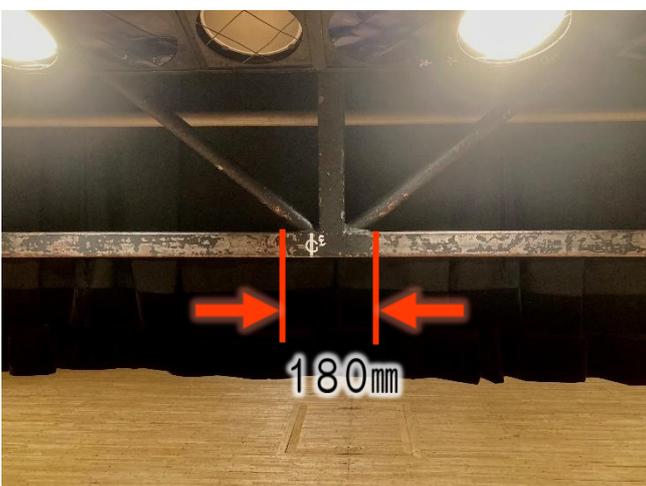
- 角パイプは通常のハンガーでおおよそ噛みませんが、たまに噛まないハンガーもあります。
- ムービングライトのハンガーはほぼ噛みませんが、一部噛むものもあるようです (四角いタイプ)。
- 角パイプの下端から文字の下端まで 300 mm。



- 角パイプの径は 50 mm×50 mm
- 角パイプから C クランプを使って桁吊りも可能です。C クランプと桁吊り用バトンはホールにもございます。
詳細は照明貸出備品リストにて。



- 角パイプから桁吊り用バトンまで芯一芯で 130 mm。
- 桁吊り用バトン下端から文字下端まで 170 mm。



- 角パイプにはナナメに補強材が入っている関係上、吊ることが出来ない部分が所々存在します。
- それぞれの幅はおよそ 180 mm。